

2013年
1月号

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.66)



Mini-WAN



～三河港湾事務所だより～

Mini-WANとは港や海に関連する新鮮な話題を中心に、
地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

三河港湾事務所長より 年頭のご挨拶！

新年あけましておめでとうございます。12月にこの地域でも雪が降るなど、この冬は寒さが厳しくなるようです。前任地が沖縄の私には、なかなか厳しい気候ですが、体には気を付けて乗り切っていきたいと思います。

当事務所に着任以来、地域をいろいろ回る中で、道の駅や農産物の直売所によく寄るのですが、夏場のメロンの安さには驚きましたし、最近では新鮮なキャベツが、たくさん店頭で並んでいるのを見ると、豊橋・田原を始めとするこの地域は農業が盛んな地域だということを実感します。

さて、東日本大震災から二年が経とうとしています。記憶はどうしても風化していくものですが、愛知県は、南海トラフの巨大地震による被害が懸念される地域であり、防災への意識は持ち続けていく必要があると思います。当事務所としても、昨年三河港・衣浦港の地震・津波対策に関する基本方針を取りまとめたところであり、今後も各種対策に取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



三河港湾事務所長
宮田 亮



明海地区防災訓練が実施されました



12月7日、豊橋市明海地区にて、防災訓練（津波一斉避難訓練・消防署合同防災訓練）が実施されました。当日は、明海地区防災連絡協議会にて決定した5つのグループに分かれて、午前11時の訓練開始の放送を皮切りに「津波緊急避難計画」に基づき指定の避難場所へ避難しました。

午後からは、地区の企業のグラウンドで、消火及び救護訓練や、消火栓を使った放水体験が行われ参加者は真剣に訓練していました。三河港の臨海部では、巨大地震及び津波発生時における防災・減災意識の高まりからこのような取り組みが各地区で行われています。

当事務所では、今後も各地区の防災・減災の取り組みについて情報発信していきます。



避難訓練の様子



消火訓練の様子（「明海地区産業基地防災連絡協議会」提供）

三河港湾事務所ホームページはこちら→<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>



豊橋技術科学大学がシンポジウムを開催



12月7日、豊橋商工会議所にて「沿岸域における地震防災～津波浸水予測域におけるレジリエンス※」と題したシンポジウム(豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター主催)が開催されました。

「三陸における津波被災集落の減災と復興の課題」と題した特別講演と、明海地区の防災の取り組みを題材とした「臨海工業団地における事業継続計画(BCP)の取り組み」の講演の他、パネルディスカッションが開催されました。

当事務所からは、国土交通省が行った東日本大震災時における活動紹介のパネルを掲示しました。来場者はパネル1枚1枚を興味深そうに見ていました。

また、同日、明海地区防災訓練に参加された方々も訪れて会場は満員でした。



熱心にパネルを見る来場者

※レジリエンスとは「回復力」「抵抗力」「復元力」「耐久力」などと訳される心理学用語です。

三河港湾ギャラリー新春特大号



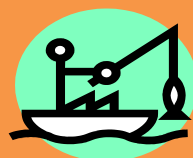
作品No.3
2013年 出航！
(三河港発 車と希望を積み込んで)



作品No.4
大地と海と空の共演
(田原市蔵王山山頂より三河湾を望む)

平成25年三河港潮位表をホームページに掲載しました！

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/lib/data/choui.html>



釣りや潮干狩りなどにも
ご活用ください。



海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル
おおいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00
(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>